

※ 論点整理については、本日の御意見等を反映し、事務局にて整理を行ったうえで、次回答申案の審議時に資料として再度配付いたします。

資料 3

## 答申案審議に向けた論点整理（たたき台）

〔一般国道 127 号富津館山道路(富浦 IC～富津竹岡 IC)に係る  
計画段階環境配慮書〕

### 1 事業特性、地域特性

#### (1) 事業特性

ア 富津館山道路は、南房総市の富浦インターチェンジを起点とし、安房郡鋸南町を經由して富津市の富津竹岡インターチェンジに至る延長約 19.2 km の一般国道（自動車専用道路）として計画されており、本事業は、暫定 2 車線で整備・供用済みの全線を 4 車線化する計画である。

イ 本事業の実施目的は、「安全で円滑な交通の確保」「防災力の強化」とされている。

ウ 位置については、具体的に決定していないものの、既に長期間に渡り供用され、広く周知されている既設のインターチェンジの位置を変更することが困難であることから供用されている道路に沿った区域とすることを理由とし複数案を設定していない。

エ 規模については、暫定 2 車線で供用されている道路(以下「既存の道路」という)に新たに 2 車線増設するものであり、既存の道路と同程度と考えていることを理由とし複数案を設定していない。

オ 構造については、既存の道路に類似した地形と想定し、既存の道路構造と同様と考えていることを理由とし複数案を設定していない。なお、既存の道路構造には、トンネル部分が全長の 1/3 以上のほか、橋梁・高架部分が含まれる。

#### (2) 地域特性

ア 事業実施想定区域（以下「想定区域」という）及びその周辺には、住宅や、学校、保育園、福祉施設等の環境の保全への配慮を要する施設が存在する。

イ 想定区域は、東京湾に流入する複数の河川と交差している。

ウ 想定区域及びその周辺には、文献調査において重要な動物種であるルーミスジミ等の生息地が確認されている。

エ 想定区域及びその周辺には、特定植物群落（鋸山の森林）、南房総国立公園（鋸山）・県立富山自然公園等が存在する。

オ 想定区域及びその周辺には、主要な眺望点及び景観資源として「鋸山」等が存在する。

カ 想定区域及びその周辺には、主要な人と自然の触れ合いの活動の場として、道の駅おおつの里花倶楽部、鋸山等が存在している。

## 2 全般的事項

- (1) 想定区域及びその周辺には、住宅や、学校、保育園、福祉施設等の環境の保全への配慮を要する施設が存在することから、これらの施設等の位置関係を踏まえ、事業計画を具体化するとともに、計画交通量を明らかにしたうえで、適切に環境影響評価を行うこと。

なお、想定区域及びその周辺には、「国土数値情報（土地利用細分メッシュデータ）」における「建物用地」の区域以外にも住宅や集落が存在するので留意すること。

- (2) 環境影響評価の実施に当たっては、既存の道路における構造物の存在や、自動車の走行等に伴う環境への影響も踏まえ、各活動要素及び環境要素に係る影響について改めて検討した上で環境影響評価項目を適切に選定し、最新の知見を基に、調査、予測及び評価をできる限り定量的に行うこと。

## 3 各論

- (1) 大気環境（超低周波音）

高架及び橋梁構造を採用する場合は、超低周波音の発生による生活環境への影響が懸念されることから、環境影響評価項目として選定すること。

- (2) 水環境（水質、地下水の水質及び水位）

ア 水質について、想定区域は複数の河川と交差しており、土地の改変等に伴う濁水等の発生及び道路排水等による水環境への影響が懸念されることから、環境影響評価項目として選定すること。

イ 地下水の水質及び水位について、トンネル構造を採用する場合は、工事の実施や道路の存在による影響が懸念されることから、環境影響評価項目として選定すること。

- (3) 動物、植物及び生態系

ア 動物、植物及び生態系について、道路の存在により影響を与える可能性があることと予測されていることから、最新の知見・事例等の収集を適切に

行うとともに、専門家等の助言を受けて適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえて環境保全措置を講ずることにより、影響をできる限り回避又は低減すること。

イ 動物及び生態系について、車線数の増加に伴うロードキルの増加が懸念されることから、既存の道路における状況の把握を含め、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえて環境保全措置を講ずることにより、影響をできる限り回避又は低減すること。

#### (4) 景観

想定区域及びその周辺には、「鋸山」など主要な眺望点が存在し、道路の存在による眺望景観への影響が懸念されることから、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえて環境保全措置を講ずることにより、影響をできる限り回避又は低減すること。

#### (5) 人と自然との触れ合いの活動の場

想定区域及びその周辺には、「鋸山」や「道の駅おおつの里花倶楽部」など主要な人と自然との触れ合いの活動の場が存在し、工事の実施や道路の存在による影響が懸念されることから、環境影響評価項目として選定すること。

#### (6) 廃棄物等

工事に伴い発生する掘削土砂等について、発生量の抑制、再利用及び適正な処理等に配慮した計画とすること。